

第19期登山学校【地図の読み方】に参加して

2014.9.6-7 19期生 長崎ちか子 記

地図読みは、肉眼的に見えないもの、山の地形のイメージが出来ること、道迷いをしない様に、遭難しないように安全に歩く危険を回避する事が出来ると、今まで漠然と見ていた地図を学べる机上学習でした。

地形図では細かく等高線が書かれており、コンパス同様に誰がこんな事を考え作ったのだろうか？疑問がおかしな方向へ向かってしまいました！翌日の実技、高水三山へと向かいました。

前夜からの雨でしたが、予報の午後から雨が上がると期待して出発！

各ポイントで地図を広げポイントには、地図上にマーク、コンパスで次の方向の確認。

コル、ピーク、やせ尾根etc. 講師の方々が山の用語を地図を見ながらポイントポイントで現在位置を照らし合わせ助言して頂いたき地図を読める様になると山の地形がちゃんと立体的に見えて来るのだと！痛感。

山頂付近で雨も止み雲の隙間から街や、周囲の山が見えましたが、天候が良ければ等高線通りに、沢、尾根が見えたのだとおもいました。

今回の私の山行御褒美の鯛焼きを食べながら、漠然と見ていた地図を少しは立体的に見えてきた？かもと信じ！？原本地形図を見ながら誰がこんなに！？凄い物を作ったのか…と、二匹の鯛焼きをいただきました。



「机上講座」 9月6日（土） 午前9時半～午後3時半 場所・北浦和カルタスホール
八木原運営委員から次の内容で「地図の読み方講座」の講義があった。

- ① 道迷いの原因と対策
- ② 地図読みの基礎

「地図の種類」「地図の記号」「等高線」「磁北線の意味と引き方」

- ③ コンパスの使い方

講義の後、25000分の1の武蔵御岳の地図で磁北線を引いてみた。また、地図の折りたたみ方も実際にやってみた。コンパスの使い方も練習する。明日行く高水三山の地図を使い、登山道を中心に尾根と谷がどのようになっているかを検証する。三百、四百、五百、六百メートルの等高線を結び、平面の地図から立体的に地形を見るように学んだ。縦軸に標高、横軸に距離で高水三山の断面図を作成し、どのあたりが厳しい登り下りになるかも検証した。普段の登山では5万分の1の地図（山と高原地図）で、登山道の標識だけを頼りに歩いているので、いざという時に問題があると感じた。講義と実学から、登山で道に迷って遭難しないために、地図が読めること、コンパスが使えることが必要と学んだ。最後に、水谷運営委員から来月の「岩登り」のガイドンスがあり、本日の「地図の読み方」の机上講座が終了した。

「地図の読み方・実技」 9月7日（日） 奥多摩・高水三山 雨のち曇り

3班のメンバーは、運営委員が駒崎さん、高野さん、班長に東原さん、副班長に本間さん、記録係に小林さん、他に篠田さん、遠藤さん、福島の人6人。朝9時15分に軍畑駅に集合し、ストレッチを行い、9時45分にグループ毎にコンパスを振り、地図を片手に出発。運営委員が事前に①～⑬までの目印を設置しており、その目印を目標に地図と照らし合わせながら進む。途中で寺院、送電線、堰などを、現物と地図で確認しながら現在地を認識する。平溝橋分岐、高源寺登山道を過ぎ、11時40分に高水山の麓にある東屋に到着、ここで30分の昼食休憩をとる。まだ雨降りも激しいが、みんな食べることは楽しそうだ。12時13分高水山頂上（759メートル）、12時50分岩茸石山頂上（793メートル）に到着。岩茸石山から惣岳山へ向う途中、地図に723メートルの頂があるので、山の名前が地図には出ていないが、登山道を外れて行ってみる。馬仏山との標識があった。地図が読めないと行けない所である。ようやく雨も止みつつあった。惣岳山頂上（756メートル）に14時3分に到着。そのころには、雨で地図と記録用紙がぼろぼろになっている人もいた。全員無事に15時45分に御岳駅に到着。その後、グループ毎の反省会では、普段地図とコンパスを持って登山することがないので、今日の経験は良かったという意見が多かった。道に迷って遭難しないためには、「地図の読み方」、「コンパスの使い方」の更なる勉強と経験が必要だと感じた。

以上

2014 9/6 机上講座【地図の読み方】

まず「遭難」について学んだ。約50年前に大学山岳部のパーティーの事故の概要からだったが身の引き締まるスタートとなった。迷い⇒焦りに繋がるということを肝に銘じておくにはいけないことが深く印象に残った。

地図と向き合ったのはいつ以来だろうか？

『地形図』…尾根は赤色 谷は青 おぼろ気だが少しずつ山の形が見えてくる。何だか楽しくなってきた。

『地図記号』（小学校以来だ）『等高線』『縮尺と実際の距離』『磁北線の引き方』等々。ちょっとでも説明から目を離すと解らなくなる程内容は盛りだくさんだったが、運営委員の方々が こまめに指導して下さい、なんとかついていった。

ただ明日以降も覚えていられるのかちょっと不安も残った。概念図も完成して、いよいよ明日は高水三山だ。

天気予報は雨。



2014 9/7 実技講座【高水三山 山行】

やはり雨。気の重い一日のスタートとなってしまったが、みんなの顔を思い浮かべながら 家を出た。電車の中で話すうち、少しずつ気持ちも上向きになってきた。こうなったら楽しむっきやない。班毎にポイントを確認しながら進んだ。今回の目標…地図と地形の見比べは順調だった。昼食の頃は土砂降り。立ったまま傘をさして食べたのは初めての経験。高水山山頂あたりは雨も小降りになったが視界はほぼゼロだった。休憩するとすぐ体が冷えてくる。また歩き出す。

さらに岩茸石山、惣岳山へとひたすら歩く。いつの間にか雨は止んでいた。下りはやや粘土質でいかにも滑りそうな道の連続だったが、班員はみな転ばなかった。個人的には運営委員の方から足の運びについてご指導を

いただき非常に有意義だった。送電線を見つけるとおおよその現在地を確認することも出来た。今回も大きな怪我もなく下山出来たことが嬉しい。当たり前なのだから嬉しい。登山学校も後半だ。これからも謙虚な気持ちで山と向き合っていきたい。



19期受講生 田中 和広
田中 聖子記

【9月6日 机上学習 カルタスホールにて】

登山に欠かせないであろう、しかし自分が今まで疎かにしてきた「地図の読み方」の講座でした。自分の登山地図のスタイルはiPhoneにGPSのアプリであった為、「コンパス」と「紙の地図」の組み合わせは登山学校に入る前は未経験でした。

講義として地図とコンパスを持たない登山の危険性と道迷いの対策、地図の読み方を教わりました。その後実際地図等を使用して

- ① 磁北線の引き方
 - ② 等高線を100m置きに太線に、尾根・谷を色鉛筆で着色
 - ③ 地図に示された地点の標高を書き出し、断面図に起こす
 - ④ 概念図の作成
- を行いました。



【9月7日 実技講習 高水三山にて】

残念ながら実習当日は雨。レインウェアを着込みストレッチをした後9:30過ぎに軍畑駅を発。 「送電線の下だから地図ではこの辺」「堰の地図記号の所に堰堤があった!」「針葉樹と広葉樹との境界線だ」と、地図と実際の一致を楽しみながら歩きました。前日に書き出した標高と実際に計測した標高がほぼ合っていたのもうれしく思われました。途中コースアウトのハプニングもありましたが怪我もなく無事下山できたこと講師陣の皆様には感謝しております。

【コースタイム】

軍畑駅 9:36 → 9:25 平溝橋分岐 9:26 → 10:09 高源寺登山道入口 10:10 → 10:33 沢から登り始め 10:36 → 10:51 尾根に乗る 10:57 → 11:29 常福院昼食 12:02 → 12:09 高水山頂 12:12 → 12:26 高水山から2個目のコル 12:26 → 12:37 巻道との分岐 12:37 → 12:47 岩茸石山頂 12:57 → 13:23 馬仏山 13:25 → 13:52 惣岳山頂 14:04 → 14:32 ヘアピンカーブ 14:35 → 15:00 送電線鉄塔 15:00 → 15:33 慈恩寺(御嶽駅)

